

第243回くらしの植物苑観察会 2019年6月22日(土)

木綿以降-江戸時代の繊維革命-

松尾 恒一(当館民俗研究系教授)

I. 古代～中世、木綿以前-絹・麻&皮

* 大嘗祭：天皇の即位の年の特別の新嘗祭

- ・日本を代表する悠紀の国〔東〕と主基の国〔西〕からの新穀の献上
麩服(アラタエ=麻布)と繪服(ニギタエ=絹布)

① * 稲と天皇、

・養蚕と皇后

・高級絹は近世までチャイナシルク

〔中世末～近世〕絹・鹿革をめぐる中国とヨーロッパとの競合

日本：糸割符制度／繭の改良に次ぐ改良、ヨーロッパへの輸出

⇒近代：富岡製糸工場…高級絹の大量生産に成功！

* 上海：寶昌糸廠…同じフランス人技師ポール・ブリユナー (Paul Brunat)の技術指導

② 麻の文化

☆さまざまな“麻”

- ・大麻 ・苧麻 ・カラムシ / 芭蕉(奄美大島の芭蕉布) /
オヒョウ(アイヌの衣“アットウシ”)

◇麻と布・糸・縄、漁網、畳糸 *先史時代：糸と針の発明

◇麻の紙…楮・竹より古い

◇神道：麻を付けた御幣、麻の呪力 *中国、貴州省 ミャオ(苗)族の麻

◇結納品のひとつとしての麻

・奈良の奈良晒

江戸時代、奈良晒は幕府の御用品指定を受ける。慶長16年、徳川家康の命により奈良晒は生地の上に「南都改」という朱印を押され、ブランド化した。

・沖縄 宮古上布・八重山上布…琉球王府への貢納品

③ 木綿(ゆう)の文化 : 楮(こうぞ)を原料とした布のことである。楮の木の皮を剥いで蒸した後に、水にさらして白色にした繊維である。

⇒紙と布の近似性：繊維を絡ませた紙と糸を立て横に織った布／麻、楮等

* 楮原料の繊維による布「太布(たふ)」

④ 皮

- ・皮衣の聖
- ・北海道…ラッコ皮貿易 / ・戦時中…犬皮

Ⅱ. 世界のなかの繊維革命：“木綿”の拡大と衣服・船舶

①中国

- ◇元代～明代：南方より北方へ
- ◇上海土布と海南島黎族“黎綿”

②日本

- ◇古代：崑崙人による綿花の伝来…定着しなかった。

*文化遺産化される歴史. 木綿の道

安永4年(西暦1775年)成立『三河刪補松』「木綿、桓武帝ノ朝、延暦一八、蛮人種ヲ積ミ来ル舶、三河ニ漂着ス。着船ノ所ヲ天竺村ト云。今天竹ト書改ム」
⇒綿を司る棉祖神^{めんそしん}を祀る天竹神社での棉祖祭

◇大陸・半島からの木綿伝来

中世(明代)：中国との国家間交易より民間交易への転換
中国⇒日本：生糸(絹糸)・絹織物、砂糖、鹿皮&木綿、その他

◇近世：木綿の庶民への普及

- ・新綿番船
- ・藍染めの流行
藍(農業)と漁業(干鰯)の振興

☆木綿のできなかった東北地方へは木綿の古着が江戸等より輸出される
⇒破縫い、刺し子の発達

③ヨーロッパ・アメリカ

- ・ヨーロッパの奴隷貿易と綿花プランテーション

.....

次回予告 第244回くらしの植物苑観察会 2019年7月27日(土)
「明治2年の皇居の花見」横山 百合子(当館歴史研究系 教授)
13:30~15:30(予定) 苑内休憩所集合 申込不要